

「本書の使い方—英語のインプットを増やし、英語のリズム・感覚を身につける—」NHK ラジオテキスト「Enjoy Simple English」9月号 NHK 出版 2016年8月14日発行を読む

英語のインプットを増やし、英語のリズム・感覚を身につける

Step 1. 本書を読んで、内容を把握する

(1) まずは放送前に本書を読んで、内容を理解しましょう。その際、細かいことにはこだわらず、できるだけ大意をつかむことを心がけてください。中には難しい表現もありますが、Before You Start のイラストも参考にしながら読んでみましょう。

(2) 日本語に訳さずに読んでいく

英語を日本語に訳しながら読むのではなく、できるだけ英語のまま内容を理解するようにしましょう。もちろん、最初からうまくはいきませんが、続けるうちに、英語を英語のまま味わう感覚が身についてくるはずです。

(3) なるべく辞書は引かずに、90パーセントの理解を目指す

大量の英語を読む際に、いちいち辞書を引いていたら大変です。そうした行為は一種の苦行ともなり、「英語を楽しむ」ことができなくなってしまいます。ですから、なるべく辞書は引かずに、前後の文脈から意味を類推しましょう。どうしてもわからない箇所は、もちろん辞書を引いても構いませんが、思い切って「読み飛ばす」ことも必要です。すべての英文を理解する必要はありません。全体の概要がわかれば大丈夫です。

(4) 難しすぎる話、興味がない話はやめる

番組では、曜日ごとにテーマを変え、さまざまなストーリーを提供しています。難しすぎる、つまらないと感じたら、その話は飛ばして次の話に進みましょう。この番組は、苦行を求める番組ではありません。あくまで楽しむことを心がけてください。

Step 2. 放送を聞いて、ストーリーを楽しむ

(1) 番組を聞く際は、テキストを見ながらでも、テキストなしでも構いません。事前に読んでイメージしていた内容を思い出しながら、ストーリーを楽しんでください。

(2) ストーリーの進行に合わせて頭を切り替える

事前に読む際は、多少時間をかけることもできます。しかし、放送では「あれ？」とっている間に物語がどんどん先に進んでしまいます。「ちょっとわからない」と思っても、そこで立ち止まらず、その先についていくように心がけましょう。これは、Step1 の「読み飛ばし」と同じ感覚です。

(3) 放送で音を確認する

英語を話す際は、実際に「音にする」必要があります。読むだけでは「音」はわかりません。放送で実際の音を確認してください。

Step 3. もう一度、本書を読み返す

(1) 放送を聞いたあと、ストーリーをもう一度読み返してみましょう。一度放送を聞いたあとでするので、内容がより具体的にわかってくるはずです。その際に、音読してみることもお勧めします。音を聞いたあとであれば、音読もよりスムーズにできると思います。

(2) 気になるストーリーだけを読み返す

1 か月に 20 話、そのすべてを読み返す必要はありません。面白いと思ったものだけでもいいですし、放送を聞いて、事前のイメージと違っていたストーリーでもいいでしょう。巻末の Word List も参考にしながら、ストーリーへの理解を深めましょう。

P.8 ~ 9

<コメント>

NHK ラジオ英語講座「Enjoy Simple English」のテキストと放送を活用しての英語の身に着け方。この方法を身に着ければ、英語が確実に身に着くと確信します。是非、御活用を。

— 2016年9月1日(木) 林 明夫記 —